

第22回日本認知症グループホーム全国大会

福岡大会 実行委員会ニュース No.3

2021. 7. 13

演題発表の申込期日を延長しました！（8月4日まで）
なお、本大会は 認知症ケア専門士単位取得可能講座
（認知症ケア専門士単位：3単位。演題発表者については1単位加算）です！

FAX ニュース No. 1 でご案内のとおり、演題発表の申込締切は7月15日までとなっていました
 が、報酬改定対応やコロナ対策などで色々とお忙しいなかで、発表申込・抄録原稿（A4 用紙 1
 ページ分）の締切が厳しいというご意見も少なからず聞こえてきました。それを受け、大会実行
 委員会では、**締切日を8月4日（水）まで延長**することといたしました！
 グループホームでの取組みを全国の皆さまに発表するまたとない機会ですので申込をお待ちし
 ております！

演題募集テーマおよびキーワード等 一覧

NO	キーワード	演題募集テーマ：演題の趣旨・背景
1	グループホーム ケア、認知症ケ アと家族との関 わり	家庭的な環境で、その人らしく尊厳を持って笑顔で暮らせるように支えていくことが、私たち認知 症GH事業所の使命です。個性や自己決定、生きがいと利用者の持てる力を活かした取組みなど、「G Hならではの」実践を交流しましょう。 共用型通所や若年性認知症への取組み等も含めて、実践や経験を発表して下さい。
2	災害対策と防災 対策感染症、リ スクマネジメントとBCP（事 業継続計画）	昨今の災害は、大規模なものだけでなく、「いつどこで起きても不思議ではない」ものになっていま す。GHでの安全と安心を確保するため対策は、普段からの防災対策から、災害が起こったときの速 やかな対応策、そして当協会として進めている防災ネットワークの構築が必要です。さらに災害時 にも事業を継続できる「事業継続計画」の対応が求められています。 新型コロナウイルスの蔓延という経験を踏まえて、経験や対応策など、様々な角度からの発表を期待し ます。
3	重度化、看取り における家族支 援と医療連携	認知症GH利用者の高齢化や重度化が進んでおり、こうした利用者への適切なケアや、医療とのよ り密接な連携がますます求められています。また、こうしたなかでの「看取り」も、尊厳を支える大 切な実践になっています。ご本人への適切なケアと同時に、家族支援や医療との連携のあり方も不可 欠な課題です。
4	地域連携と地域 共生、地域包括 ケアの推進との 関わり	感染症の長期化の中で、高齢者の孤立やとじこもり、そこからの「フレイル」が大きな社会問題に もなっています。「地域における認知症ケアの拠点」としての期待が寄せられるGHが、地域包括ケア や共生社会にどのような役割を果たす事が出来るのか。 智恵と工夫をこらした実践をお聞かせください。
5	権利擁護・虐待 防止利用者の権 利を守るための 尊厳ある取組み と	利用者の権利擁護、虐待・拘束を排した介護は、ますます重要な課題です。このための具体的な経 験に学び、普段からの対策を講じなければなりません。同時に、そのためにも、職員の疲労・ストレ スの蓄積を緩和する取り組み、ストレスマネジメント、アンガーマネジメント等の研修も欠かせない 課題です。利用者も職員も、共に尊厳と人権を大切にされる介護現場を作るための様々な取組みを 募集します。
6	人材確保と育 成、定着、業務 改善	介護事業の人材不足は極めて深刻な状況にあります。特に、認知症の利用者に安心安全な日常生活 を提供する介護人材の確保・定着は介護の質を保証する大きな課題です。 そのための創意工夫ある取組みを交流しましょう。
7	その他の事例	上記の分類に当てはまらない実践や研究、また独自の視点から行った取り組みなどを発表して頂き ます。

「演題発表申込書」および「抄録原稿用紙」を大会サイトからダウンロードしていただき
 (<https://www.gkhyo.or.jp/user-rights/competition>)、大会実行委員会教育・研修担当宛て
 (groupphometaikai@gmail.com) までお申込みください